

2010年度日本建築学会技術部門設計競技

「建築ストックを活用した新たなビジネスモデルの ための技術とデザイン」

主催 日本建築学会 建築社会システム委員会

主旨

わが国にこれから求められるストック型・循環型社会の実現に向けて、眠っている膨大な建築ストック活用のための新たな技術・デザインの開発が望まれる。またそれが現代社会において継続的な取り組みへとつながっていくためには、それら技術・デザインの力により、建築ストックが不動産的価値を持ったり、そこで営まれる活動がその空間ならではのビジネスとして市場価値を生み出したりするような状況をつくりあげていくこと、それに加えて、これからの社会にとって望ましい方向性を見据えたものであることが重要であろう。

現在の社会情勢の目まぐるしい変化の中で、ネットビジネス、介護・福祉ビジネス、人材派遣ビジネスなど、純粋なものづくりに留まらない新たなビジネスモデルが模索され推進されている。しかし、こうした取り組みに歯止めが利かず、ITショックや金融ショック、また格差社会問題に象徴されるような事態を引き起こしている。その一方で、農業ビジネスやエコビジネスなど従来のものづくりに新たな価値を付加した取り組みや、地域に根付き社員の幸福を通じて社会に貢献するというベーシックな姿勢を持った中小企業のビジネスモデルが注目される時代でもある。

本提案では、こうした状況を踏まえ、これからのわが国に求められる、社会性を持った新たなビジネスモデルを始動するための「商品」または「場」を生み出す建築ストックの活用技術・デザインを募集する。構想されるビジネスモデルは多様であり、その新鮮さや社会性ととも、その特性にマッチした建築ストックの選定も大きなポイントとなるであろう。またそれは、決してボランティアな精神に支えられた活動ではなく、あくまでもビジネスとして成立し、従事する者に対価をもたらす活動または活動の場としての建築ストック活用技術・デザインの提案であることを条件としたい。

応募要領

①課題 建築ストックを活用した新たなビジネスモデルのための技術とデザイン

②応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできない。

③募集内容

(1) 建築ストックを利用し、貨幣価値のみに左右されない社会的な価値創造を果たしながら、経営的な合理性も独自の手法で獲得している新たな技術提案。

(2) 実作そのものの応募は原則として認めないが、実作を前提とした計画段階の提案、またすでに実現していても計画時点にまで遡った内容による提案であれば受け付ける。

(3) 現在は実現が困難でも、将来における建築ストック活用の方向性を示す萌芽的な提案でもよい。

④審査員（敬称略、五十音順）

委員長 森本信明（近畿大学）

委員 加茂紀和子（みかんぐみ）、木本健二（芝浦工業大学）

齊藤広子（明海大学） 田中直人（摂南大学）、
田村誠邦（アークブレイン） 西野加奈子（建築・住宅国際機構）
長谷川洋（国土技術政策総合研究所）
松村秀一（東京大学）、山本康友（東京都）、
吉田 敏（産業技術大学院大学）

⑤提出物（使用する言語は、日本語または英語とする）

(1) 応募申込書

下記内容をA4判1枚に明記すること。書式は自由。

①提案名（提案内容を的確に表す簡潔なタイトル）

②代表者および共同制作者全員の氏名・ふりがな・会員番号・所属

③上記中の事務連絡担当者の氏名・ふりがな・会員番号・所属・電話番号・E-mailアドレス

(2) 計画提案

A1判1枚以下の内容をおさめる。用紙は縦使いとし、パネル化しないこと。

①提案名（提案内容を的確に表す簡潔なタイトル）

②提案内容を明確に示すこと。図面の種類は特に指定しないが、提案内容を説明するのに十分なものとすること。

③建築、都市と技術（ソフト、ハード）の関係を明記すること。

④実作で応募する場合、竣工後の写真は不可とし、計画時点における図面、パース、模型写真等の情報で構成される内容であれば可とする。

※注意：提出図面には、氏名・所属など応募者が特定できる情報を記載しないこと。

(3) 上記図面のPDFファイルを収めたCD-RまたはDVD-R

⑥提出期限 2010年5月31日（月）

（当日の受付締切は17時。郵送の場合は当日消印有効。ただし宅配便は不可）

⑦審査会

審査は二段階で行う。

(1) 一次審査会（非公開）2010年6月下旬予定

入選作品を選定する。

(2) 二次審査会（公開）2010年9月の日本建築学会大会

候補者による10分程度のプレゼンテーションを実施し、その後各賞を決定する。

*詳細は後日、本会ホームページに掲載する。

⑧表彰

最優秀賞——1点：賞状および副賞50万円

優秀賞——3点以内：賞状および副賞10万円

佳作——若干：賞状および副賞5万円

ただし、審査結果において該当作品なしとする場合がある。

⑨審査結果の公表等

入選作品は2010年9月の日本建築学会大会で表彰する。入選作品は日本建築学会大会および建築会館で展示し、審査経過・講評とともに『建築雑誌』に掲載する予定である。

⑩その他

(1) 応募図面および関係書類は返却しない。

(2) 応募作品の著作権・特許権は応募者に帰属するが『建築雑誌』・本会ホームページへの掲載や日本建築学会編の出版物に用いる場合は、無償でその使用を認めることとする。

(3) 課題に関する質問は受け付けない。

提出先

（社）日本建築学会事務局「技術部門設計競技」係

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

TEL03-3456-2057、FAX03-3456-2058、E-mail:morita@aij.or.jp